

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月10日 (2008.7.10)

【公表番号】特表2008-503504(P2008-503504A)

【公表日】平成20年2月7日 (2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-516973(P2007-516973)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 33/14 (2006.01)

A 6 1 K 33/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/28 (2006.01)

A 6 1 K 31/59 (2006.01)

A 6 1 K 31/593 (2006.01)

A 6 1 K 33/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/28 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 33/14

A 6 1 K 33/10

A 6 1 K 31/28

A 6 1 K 31/59

A 6 1 K 31/593

A 6 1 K 33/06

A 6 1 K 9/28

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 3/02 1 0 2

A 6 1 P 19/00

A 6 1 P 19/10

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月21日 (2008.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 種のストロンチウム塩を含む、薬学的組成物。

【請求項 2】

少なくとも 1 種のビタミン D 化合物を含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の薬学的組成物であって、ここで前記少なくとも 2 種のストロンチウム塩は：ショウノウ酸ストロンチウム、炭酸ストロンチウム、塩化ストロンチウム、クエン酸ストロンチウム、エタンスルホン酸ストロンチウム、フマル酸ストロンチウム、グルコン酸ストロンチウム、乳酸ストロンチウム、リンゴ酸ストロンチウム、マレイン酸ストロンチウム、マロン酸ストロンチウム、メタンスルホン酸ストロンチウム、硝酸ストロンチウム、シュウ酸ストロンチウム、リン酸ストロンチウム、ケイ酸ストロンチウム、コハク酸ストロンチウム、硫酸ストロンチウム、および酒石酸ストロンチウムの群から選択される、薬学的組成物。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、前記少なくとも 2 種のストロンチウム塩が：炭酸ストロンチウム、塩化ストロンチウム、およびケイ酸ストロンチウムの群から選択される、薬学的組成物。

【請求項 5】

前記組成物が炭酸ストロンチウムを含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、 SrCl_2 、 $\text{SrCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ 、 $\text{SrCl}_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ の群から選択される塩化ストロンチウムを含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

前記塩化ストロンチウムが $\text{SrCl}_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ である、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記組成物が塩化ストロンチウム 6 水和物および炭酸ストロンチウムを含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 種のビタミン D がビタミン D_3 である、請求項 2 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

前記薬学的組成物が可溶化剤を含む、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

軟骨または骨の障害 / 疾患の予防または処置のための医薬品の製造のための、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物の使用。

【請求項 12】

前記医薬品が骨粗鬆症の治療または予防のためである、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記医薬品が末梢性の投与のためである、請求項 11 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 14】

前記医薬品が経口投与のためである、請求項 13 に記載の使用。

【請求項 15】

放出されるストロンチウムの量が 45 分以内で少なくとも 40 % である、請求項 11 ～ 14 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 16】

前記医薬品が錠剤として処方される、請求項 11 ～ 15 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 17】

前記錠剤がコーティング錠である、請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】

前記医薬品が制御放出のために処方される、請求項 11 ～ 17 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 19】

前記医薬品が溶解可能な医薬品として処方される、請求項 11～18 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 20】

前記医薬品が矯味矯香付き飲料である、請求項 11～19 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 21】

1 投与量が 3.0～15 mmol のストロンチウムを含む、請求項 11～20 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 22】

請求項 11～21 のいずれか 1 項に規定される医薬品の治療上有効な量を含む、治療のための組成物。

【請求項 23】

軟骨または骨の障害 / 疾患の治療または予防のための、請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 24】

骨粗鬆症の治療または予防のための、請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 25】

3.0～15 mmol のストロンチウムが投与量あたり投与される、請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記組成物は、カルシウムを含む医薬品と組み合わせて投与され、ここで該医薬品の投与が該組成物の投与とは分離されている、請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 27】

以下：

i) 少なくとも 2 種のストロンチウム塩を含む医薬品、および

ii) 少なくとも 1 種のカルシウム塩を含む医薬品

を備えるパーツのキットであって、組成物 i) および ii) が別個の単位であるパーツのキット。

【請求項 28】

前記医薬品 i) が請求項 1～10 に規定される薬学的組成物の 1 つ以上の特徴を有する、請求項 27 に記載のパーツのキット。

【請求項 29】

前記医薬品が請求項 11～21 に規定される医薬品の 1 つ以上の特徴を有する、請求項 28～30 のいずれか 1 項に記載のパーツのキット。